

ピックアップ

手作り作家の力を引き出し 地域を元気に!

～お気に入りだらけのノミの市(Unique)^{ユニーク}～

- 助成金・補助金について
補助金に多数の応募!その背景とは?
- 助成金セミナーが行われました
- 憩うところ「陽だまりの会『しーがる』」
- 情報あらかると
- 地域の元気創造
市民参加型の活動拠点「まちなかトープ」オープン

んすだ

10
2010



手作り作家の力を引き出し 地域を元気に！

～お気に入りだらけのノミの市 (Unique)～

9月19・20日大館市の樹海ドームで開催された「お気に入りだらけのノミの市」は、手作り雑貨などの展示・販売の場です。7回目を迎える今回は、44組もの手作り作家が大館市のほか、北秋田市、能代市、岩手県や青森県からも参加。カフェなどの出店や生ライブも行われたことから更に賑わいました。年々増える作家と来場者、そのパワーと活気もどんどんと大きくふくらんでいます。

この元気な空間を創り上げている「Unique」代表の虻川道子さんとメンバーの安達真由美さんは、8年前から“アート展”や“ノミの市”を開催して10回目となります。「Unique」の活動は、作家の発表の場づくり、作家同士のスキルアップと交流を図るとともに、来場者をあきさせない、来場者を呼び込む工夫をしながら、大館の元気につなげています。

はじめは、フラワーデザイン、クロスフラワー、布雑貨、書画という違う分野の4人の作家によるコラボ企画「女性作家の現代アート展」を開催。個々に展示するのではなく、それぞれの持ち味を引き出す総体的な空間づくりをめざしました。その後、作品の制作費用をなんとかしたいと始まったノミの市ですが、ただ陳列するのではなく、ディスプレイにこだわり、会場一体が一つの作品としておしゃれな雰囲気になるよう心がけているため、常に手作り作家のリサーチをしているほか、アプローチしてくる作家にも一定のスキルを求めています。

また、ノミの市に参加される作家の方には、お互いの作品やディスプレイを見てまわり、声かけをするようにお話ししているそうです。それぞれの良さを吸収してスキルアップにつなげて欲しいからで、2日間の開催となった今

回は、ディスプレイが初目と2目目で変わったそうです。作家同士が刺激を受けて変化を加えたり、材料を譲り合ったり、スペースを共有したりと相乗効果をあげ、作家自身も会場を盛り上げているのです。また、作家にとっては来場者の反応も大きな力となっています。

虻川さんは作家ではありません。活動のきっかけは、友達の個展を企画したところ、友達の力が伸びていくのがわかったことと、一緒に創り上げていく喜びを味わえたことです。また、来場者の「他と違うので必ず見に来ている」「期待感がある」という声も大きな励みとなり、人に見てもらい、喜んでもらえることへの楽しみを感じています。

今後も年2回程度の開催をめざしていて、手作り作家のネットワークは地域を越えて広がっていきます。

Unique (代表/虻川 道子)

TEL.090-4316-9214



左から代表の虻川さんとメンバーの安達さん



①和は〜と／ネクタイ作り30年以上という最年長の参加者。娘さんと参加しています。とてもチャーミングな笑顔に元気をいただきました。②bee／手作り雑貨の店で、子どもが遊べるスペースを設けています。手芸教室などの会場としても利用されています。③たまごの杜／北秋田市(合川)から参加。比内地鶏の卵をふんだんに使ったシフォンケーキを作っています。「んだすな」でも以前、コミュニティビジネスとして紹介しました。④bond／母と娘(3姉妹)で出店。お母さんとお

姉さんが作品づくり。姉妹で販売しています。レンタルボックスとは違って、お客さんの反応がわかるので、自分だけの考えで作っていた作品からお客さんのニーズにあったものが作れるようになりました。⑤e*PLUS／ハンコ作り暦2年。他の作家からハンコを頼まれることもあります。手芸やビーズ作りをする岩手県の友達(「ゆくり」として活動予定)と一緒に参加。⑥be friends T&K／仲良しの2人組。押し花・紙バンドクラフト・コースジュ・ビーズなどを作っています。ノミの市に

参加することで、他の作品やディスプレイ、季節感の演出など参考になり、ディスプレイに必要な小物を他グループからみつけて注文することもあります。⑦つくし／白い食器に特殊なシールを貼って焼き付けるポーセラーツ。普段は高齢者から子どもまで幅広い年代に体験教室を行っています。⑧NPO法人工房JOYさあくる／今回初参加。障がい者が地域で安心して暮らせるようにと活動しています。廃食用油から手作りせっけんやBDFの生成をしています。

補助金に多数の応募！その背景とは？

「地域をもっとよくしたい!」「住みやすい地域にしたい!」という熱意ある団体の地域づくり活動を応援するとして「大館市地域づくり協働推進支援事業(地域応援プラン)」は、応募59団体という大きな反響があり、審査を経て42団体が採択されました。

助成金や補助金を活用して活動している多くのNPO(最広義※)。区市町村では、まちづくり支援の補助金制度を設けて支援していますが、制限を設けているためか応募団体が減少しているケースもあるようです。

そこで、大館市産業振興課の工藤係長に、多くの団体の熱意を引き出した「地域応援プラン」とはどんな事業なのか、地域社会を活性化する糸口としての役割、今後、団体と大館市がどのように“協働”を推進するのかを伺いました。

——地域応援プランは、大館市が昨年度“地域づくりと地域活性化”について実施した「中山間地域アンケート」(16地区216人を対象に実施し135人回答)の結果を踏まえて生まれました。アンケート結果では、地域の生活環境整備、施設・設備の修繕等が必要、予算は20～50万円、自己負担率0%を求める声が多く寄せられました。

そこで、単に修繕費等の補助をするのではなく、“地域づくりと地域活性化”につながる事業として、住民自らが地域の現状や課題を把握して将来像を描き、将来像を実現するための活動計画を立てる「地域づくり計画の策定」と、計画を具体的に実施する「地域づくり活動」に補助することとしました。今回採択された団体は、地縁組織とよばれる自治会や

町内会、まちづくり協議会や地域の有志による団体でした。

応募内容は、環境美化活動、世代間交流や健康促進活動のための拠点整備、防災・災害対策、伝統芸能の保存・後継者育成、特産品開発、コミュニティビジネスの立ち上げなどで、活動のための先進地視察研修や専門家による勉強会を考えている団体もあります。今年度中に地域の特徴を活かした活動計画が提出されるということで注目されます。

補助期間は最長3年、補助金額は最大220万円。市では、補助期間後も継続していくために将来像を描いた活動計画は重要としていますが、あくまでも地域住民が参加しやすく、後で負担にならない取り組みであることが大切と話しており、団体から相談があればその都度対応してくださるそうです。また、“協働”については、地域内での協働を図っていく考えです。——

現在、地域を構成する多様な主体(住民個人・団体・企業・自治体)がそれぞれの役割分担に応じて共に行動するというパートナーシップに基づく地域づくり(協働による地域づくり)が必要とされ、秋田県でも県政運営の指針で重点課題と位置づけています。この事業によって灯された地域住民の熱い想いは、つながることで大きな輝きとなります。想いを絶やさないためには、多様な主体がどんな意識で取り組むことが必要となってくるのでしょうか。

※NPO最広義とは、NPOの概念図参照。公益団体でも公共性の高い活動をしている場合があります。

助成金セミナーが行われました!

「地域を元気にする助成金セミナー & 個別相談」が9月28日(火)北部男女共同参画センターで開催され、講師の大庭竜太氏(公益財団法人トヨタ財団プログラムオフィサー)が助成金のことやトヨタ財団地域社会プログラムについて説明してくださいました。今回は個別相談を希望される団体が多かったことから、この助成事業に対する関心の高さが伺えます。ここでは、助成事業に共通したアイデアを助成金に結び付けるためのポイントについて簡単にご紹介します。

助成財団等の「ミッション(公益的目標)」を知る!

団体の活動がどんなに熱意を持った良い活動でも、助成財団等の「ミッション」とあわない場合は対象となりません。トヨタ財団の地域社会プログラムでは、「地域に根ざした仕

組みづくりー自立と共生の新たな地域社会をめざして」を公募テーマに、課題解決につながる具体的・持続的な「仕組み」の形成により、人々が心豊かに生きられる、自立と共生の持続可能な地域社会の実現に寄与することなので、領域・分野は限定していません。プロジェクト形式の活動に対しての助成となっているため、単一組織の経常的な事業は対象外となります。また、「仕組みづくり」を進めるプロジェクトを対象としているため、イベントや講演会が目的であればプログラムの趣旨にはずれてしまいます。「仕組みづくり」に必要な手法のひとつという視点が必要です。

助成する側と助成される側は「パートナー」!

「助成する側」の助成財団等は、助成先の団体等を(財団等としての)ミッションを実現するための「パートナー」と考えています。トヨタ財団でも、採択プロジェクトのメンバーをパートナーと位置づけており、要望により訪問して進捗状況

大館市地域づくり協働推進支援事業(地域応援プラン)

【目的】過疎または高齢化等により、地域の活力の低下が懸念される中、市民の皆さんが「地域をもっとよくしよう」「住みやすい地域にしよう」との思いからの熱意と創意工夫による地域づくり活動を応援します。地域みんなで地域のことを話し合いながら、市民の皆さんが主体となって考え、自ら取り組む地域づくり計画の策定や計画に基づいて実施します。

対象者	地域住民が組織する集落自治会、町内会連絡協議会、まちづくり協議会、市民団体など	
対象事業	地域づくり計画の策定	地域づくり活動
補助金額	20万円(上限額)	100万円(上限額/年)
補助率	10/10以内	9/10以内※
補助期間	1年目	2・3年目

(事業実施期間は平成22年～26年度までの5年間)

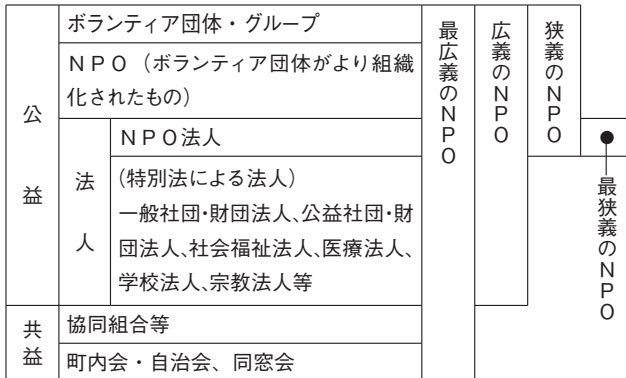
※ただし、地域が労働力を提供して実施する生活環境等を整備する活動等の場合は、地域が事業費の1割負担したものとみなし、10/10以内とします。

☎ 大館市産業部地域振興課 地域振興係

TEL.0186-43-7133

※取り組み状況は市のホームページをご覧ください。

<NPOの概念図>



や見通しについて相談、調整を行うほか、財団が実施するワークショップやシンポジウムでの報告や意見交換を求めています。「助成される側」の団体等は、助成財団等のミッションに理解・共感を示すこと、助成を受けることの社会的意義について認識することが大切です。

わかりやすい言葉で応募！

応募用紙は、つかみとなる1ページ目が重要です。わかりやすい言葉で専門でない方でもわかるように書くことが必要です。事業名は抽象的なものよりも、実施内容をわかりやすく簡潔に表しましょう。また、項目ごとの趣旨をいかに理解してまとめていくかがポイントとなります。

☆トヨタ財団地域社会プログラムの応募についてはホームページをご覧ください。

<http://www.toyotafound.or.jp/>



ひとりで過ごすのもなんだか寂しいとき、だれかと話したくなるとき、みんなでいるとほっとするときがあります。人と人がふれあい、つながる場所。

陽だまりの会「しーがる」

山本郡八峰町では、「陽だまりの会」が交流サロンを開催しています。「陽だまりの会」は、2006年に行われたふれあいサポーター研修を受講した町民有志により結成され、藤里町で先駆的な活動を行っている「心といのちを考える会」のコーヒーサロン「よってたもれ」を参考にしながら、八森地区の「しーがる」(会長/干場次子)と峰浜地区の「らべんだー」(会長/藤田宏子)の2地区でそれぞれ月1回サロンを開いています。

「しーがる」の会場は八峰町文化交流センター「ファガス」のラウンジ。明るい室内からは和やかな笑い声が聞こえ、開始早々話しが盛り上がっていました。会長の干場さんは、だれでも気軽に気兼ねなくおしゃべりができる場を心がけています。来訪者は、話しができてすっきりしたと喜んで帰っていきます。サロンは、会員17名が3グループに分かれて毎月交代で運営していますが、当番ではない会員も顔を出して一緒に会話を楽しんでいくことがよくあります。今後については、昨年冬場に行った移動サロンが大変喜ばれたことから、また実施したいと考えています。また、来訪者のご厚意で昨年実現した大正琴の演奏会が素晴らしかったので、今年も何かできたらと願いつつ、干場さんは「大切なのは、サロンを地域や自分たちにあったやり方で、無理せずずっと続けていくこと。」と話してくださいました。

陽だまりの会

「しーがる」八峰町文化交流センター「ファガス」、毎月10日
「らべんだー」高齢者多目的集會施設「はつらつ苑」、毎月20日
※10日、20日が祝祭日の場合は、翌日開催

☎ 八峰町福祉保健課 TEL.0185-76-4608



情報あらかると

イベント情報

大館市 第2回山田“菜”発見市

【日時】10月24日(日)9:00~15:00
【会場】旧山田小学校グラウンド等(大館市山田)

【内容】自家製野菜・加工品の販売、サツマイモ掘り体験、生ハム工場見学、スキの散歩道、自転車の貸し出しなど

㊦ 山田部落会(主催)

TEL.090-4889-5440(担当/赤坂)

大館市 ウィーン・フーゴ・ヴォルフ・デュオ

【日時】10月25日(月)18:30開場
19:00開演

【会場】大館市民文化会館(大館市桜町)

【内容】ピアノとヴァイオリンのデュオ。曲目はモーツァルト、ブラームスなど

【料金】大人3,000円、学生(大・高・中・小)無料(学生証提示)※当日は500円増

【主催】ウィーンフィルメンバーによる室内楽を楽しむ会

㊦ 大館市民文化会館TEL.0186-49-7066

能代市 子育てママの乳がん学習会

【日時】10月28日(木)10:00~12:00

【会場】南部公民館(能代市河戸川)

【内容】保健師さんを講師に学びます。子連れで参加できます。

【参加費】無料

㊦ 母乳育児サークルMilkyHug(ミルクィハグ)(主催)

TEL.090-44450-2114(担当/甲谷)

大館市 秋田弁と民話フェスティバル ~10周年記念大会~

【日時】11月7日(日)13:00~15:00

【会場】大館市中央公民館(大館市桜町)

【内容】民話読み聞かせ、語り部、紙芝居、方言について「失われていく秋田

弁」、オカリナ演奏

【参加費】無料

㊦ 秋田弁と民話を楽しむ会(主催)

TEL.0186-42-4245

(会長/河田竹治)

募集情報

家庭訪問支援事業ホームスタート・ホームビジター養成講座

【日時】10月19日(火)、11月6日(土)、8日(月)、12日(金)、13日(土)、16日(火)、20日(土)、24日(水)の8日間

10:00~15:00、16日は15:30まで、24日は13:00~16:00

【会場】能代市中央公民館、広域交流センター、青少年ホーム(日程により会場が異なりますのでご確認ください。)

【内容】ホームスタートとは、未就学児(6歳以下)がいる家庭にボランティア(HSホームビジター)が訪問するイギリス発祥の「家庭訪問型子育て支援」で、そのホームビジターを養成するものです。

【対象】受講後に訪問活動に携わっていただける方、全日程参加できる方

【参加費】無料

【定員】15名(定員になり次第締切)

㊦ NPO法人メリーゴーランド(主催)

TEL.080-4351-5790(HS専用電話)

かつの国体・インカレサポーター募集

平成23年2月に開催される「あきた鹿角国体2011」「全日本学生スキー選手権大会」にお手伝いいただける市民ボランティアを募集しています。

【活動内容】受付案内、会場サービス、会場準備・歓迎装飾、環境美化、輸送交通、会場整理・情報支援、写真記録、応援盛り上げ、医療救護、競技ほか

【活動期間】かつの国体/平成23年2月12日(土)~2月15日(火)

インカレ/平成23年2月18日(金)~2月24日(木)予定

【活動場所】主に花輪スキー場(鹿角市花輪字百合沢)

【応募締切】11月30日(火)

※詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.city.kazuno.akita.jp/>

㊦ 鹿角市国体・インカレ実行委員会事務局 市民ボランティア担当(鹿角市共働推進課) TEL.0186-30-0202

元気なふるさと鹿角・小坂いきいき地域づくり活動表彰者募集

鹿角市及び小坂町にある団体(町内会、学校、企業、その他任意グループなど)または個人で、地域の課題解決や特色ある地域づくりのため自主的・主体的な活動に継続的に取り組んでいる方たちを広く募集しています。

【応募方法】応募・推進用紙に記入し、鹿角地域振興局に提出。(自薦・他薦は問いません)

【応募締切】10月29日(金)

【受賞者の決定と表彰】受賞者は5団体以内。受賞者には表彰状を授与いたします。また、振興局HP上でも活動内容をご紹介させていただきます。

㊦ 鹿角地域振興局地域企画課
TEL.0186-22-0457(担当/草皆)

日本水大賞

【助成対象】個人、法人、グループの種別、年齢、職業、性別、国籍等を問わず水循環系の健全化に寄与すると考えられる活動

【表彰】大賞(グランプリ)賞状・副賞200万円ほか

【応募締切】11月30日(火)

㊦ 社団法人日本河川協会

TEL.03-3238-9771

http://www.japanriver.or.jp/taisyo/no13/taisyo_frame.htm

SYD(財団法人修養団)ボランティア奨励賞

ボランティア活動の分野において画期的な新機軸を拓いたり、優れた活動により著しい業績をあげたグループ・団体を顕彰することによって、青少年のボランティア精神の涵養と活動の活性化を図り、青少年の健全育成に資するものです。

【テーマ】私(たち)の幸せの種まき《ふれあい、思いやり、よろこびを伴ったボランティア体験あるいは実践》

【表彰】文部科学大臣賞 1点ほか

【応募資格】ボランティア体験あるいは実践をしている個人及び団体(学校、クラス、生徒会、ボランティア部、JRCなど)やPTA、子ども会、グループ等

【応募締切】12月1日(予定)

SYDボランティア奨励賞係

TEL.03-3405-5441

<http://www.syd.or.jp/volunteerprize.html>

助成金情報

スポーツ活用地域の賑わい創出事業 【スポーツ大会等開催支援事業】

【対象事業】大会等名の冠に地域名等が入っており、今後継続して実施する新規大会等または規模・内容が大幅に拡充して実施する継続大会等

【対象者】大会等を実施するスポーツ団体等

【補助額】限度額150万円(1/2以内)

【応募締切】11月1日(月)

※採択決定は10月中旬以降随時

☎ 秋田県企画振興部スポーツ振興課調整・スポーツ活性化班

TEL.018-860-1239

美の国あきたホーム>教育・文化・交流>スポーツ>スポーツによる地域活性化

少子化対策応援ファンド事業

【対象事業】①子ども・子育て支援②若者定着支援③仕事と家庭の両立支援④独身男女の出会い・結婚支援⑤その他

【対象団体】事務処理体制が整い事業を確実に遂行できるNPO法人、民間団体及び企業等

【助成金額】10万円コースまたは30万円コース(対象経費の10/10以内)

【応募締切】11月10日(水)

☎ 秋田県企画振興部少子化対策局

TEL.018-860-1248

美の国あきたホーム>くらし・環境>少子化対策

平成23年度子育て公募助成

【対象事業】地域における子育てに関するボランティア“地域”“子育て”“ボランティア”のキーワードに合致した活動

【対象団体】地域での子どもに係わる福祉活動を目的とする民間団体で、4名以上のメンバーが中心となって活動する団体・グループで、法人格の有無は問いません。

【助成金額】1件あたり上限額30万円で総額4,000万円

【応募締切】11月15日(月)当日消印有効

☎ 公益財団法人キリン福祉財団

TEL.03-5540-3522(担当/千葉・栃内)

<http://www.kirin.co.jp/foundation/>

JT青少年育成に関する NPO助成事業

「青少年の育成」をテーマとし、特定非営利活動法人をはじめとした非営利法人が、2011年度に実施を計画している事業で、日本国内において、「青少年の育成」につながる事業に助成。

【助成金額】1件あたり年間最高150万円、40件程度

【応募締切】11月20日(土)

☎ 日本たばこ産業株式会社 CSR推進部 社会貢献室

TEL.03-5572-4290

<http://www.jti.co.jp/csr/contribution/social/npo/index.html>

環境保護基金

地球環境保護活動を行っている国内外の非営利団体に助成。

【助成対象】積極的に環境活動を行っている団体。法人でなくても可

【助成金額】1団体あたり原則100万円以下ですが申請内容により100万円以上も可能。又10万円未満の助成も可能。

【応募締切】11月20日(土)当日消印有効

☎ 東洋ゴム工業株式会社 品質環境センター 環境安全衛生推進部

TEL.06-6441-8774

<http://www.toyo-rubber.co.jp/>

eco/application.html

きれいな川と暮らそう基金

【助成対象】水資源確保・河川美化清掃・水質保全などの水環境保全活動を行う学校および市民団体(NPO、NGO、サークルなど)

【助成金額】最大100万円

【申込締切】11月30日(火)当日消印有効

☎ 社団法人 日本河川協会 「きれいな川と暮らそう」基金 事務局

TEL.03-3238-9771

<http://www.japanriver.or.jp/kireinakawa/>

財団法人三菱UFJ信託地域文化財団

永年地域文化の振興に寄与してこられた団体、とりわけ地域の音楽・美術・演劇の各分野における活動および、伝統芸能の伝承、保存、後継者育成に努力している諸団体に助成。

【助成対象】団体(法人)が、日本国内で行う、地域文化振興に寄与する、公演・展覧会等

【助成金額】1件当たりの助成金上限額は特に定めておりません

【応募締切】11月30日(火)消印有効

☎ 財団法人 三菱UFJ信託地域文化財団

TEL.03-3272-6993

<http://www.mut-tiikibunkazaidan.or.jp>

タウンミーティング 参加者募集

秋田県「新しい公共と協働」推進行動指針の作成に関するタウンミーティングを下記のとおり開催しますので、多数ご参加ください。

【日時】10月26日(火)

14:30~16:30

【会場】秋田県北部男女共同参画センター(大館市字馬喰町)

【参加費】無料

☎ 申込:秋田県地域活力創造課

TEL.018-860-1237

「まちなかトープ」オープン

9月11日(土)、北秋田市松葉町に趣味の集まり・各種イベントなど市民参加型の居場所「まちなかトープ」がオープンしました。閉院した外科医院を改装し、元の待合室を大ホール、診療室を小ホールとして展示や交流スペースに利用できます。オープン時には、JAたかのす町直売所女性部による地元産野菜などの販売、写真愛好団体による写真展、遊学ファーム※1による野草茶の試飲・販売、ひまわりの会※2による秋田杉の手作り木工品、アートマーケットによる手作り木工品や手芸品などの展示・販売が行われ、品物を手に会話がはずんでいました。あそび体験ボランティア「この指と〜まれ」※3の協力によるけん玉やコマなど昔遊びの道具やくじを、近くの保育園の子どもたちが楽しんでいました。

「まちなかトープ」を運営する同名称の団体の代表 村岡典子さんは、「地域の人の力をお借りしながら、市民参加型の居場所を創りたい。ボランティア活動の拠点としての機能も併せ持つ場所にしたい。」と意欲的です。名称は、毎日のように人が集う「まちなか」でありたいと、宮沢賢治が理想郷としたイーハトーブにあやかり名付けました。利用方法は、地域の皆さんの『こんな使い方があったらいいな』というアイデアを大切にしたいと考えています。また、メンバー18人の個性を活かしたそれぞれの催しなども開催したいと広がりのある活用を模索中です。



まちなかトープ(代表/村岡典子)

北秋田市松葉町9-10 TEL.0186-62-1518

【開館時間】9:00~18:00※夜間の利用も可能(有料)

【利用紹介】○各種イベント ○サークル・教室等の活動の場 ○手作り品の展示・委託販売 ○遊び体験スペース
「この指と〜まれ」 ○まちなかカフェ ※利用方法について事前にご連絡・ご相談ください。

※1 遊学ファームは、農作業を通じ不登校・未就労者の就労準備サポート・異世代交流の場提供を目的に活動しています。

※2 ひまわりの会は、心と精神の問題を抱えている障がい者の自立支援を行っています。

※3 あそび体験ボランティア「この指と〜まれ」は、8年前から冬に子どもと地域をつなぐイベントを開催しています。昔遊び、縄ない体験、餅つきや雪だるま仮装コンテストを実施。



秋田県市民活動情報ネット

秋田県の市民活動団体の情報が満載!

<http://www.akita-kenmin.jp/npo/index2.asp>



情報を募集中!

イベント・活動情報など掲載記事を募集しています。お気軽にご連絡ください。



市民活動団体等の支援

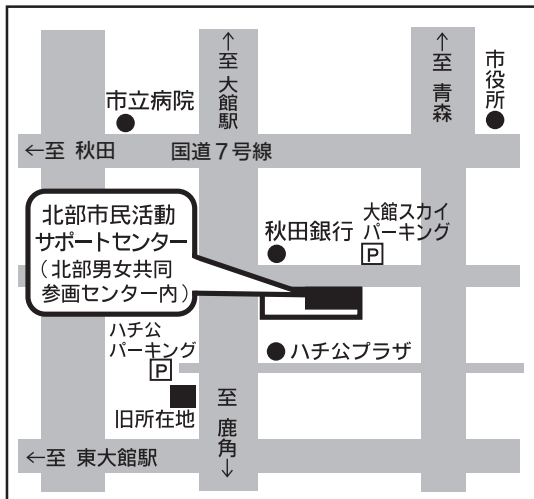
◆打ち合わせ・会議スペース ◆コピー機・印刷機の活用

◆インターネット、掲示板の活用 ◆図書・関係資料

※北部男女共同参画センターでは上記の利用ができます。利用内容によって料金がかかる場合がありますので、詳しくはお問い合わせください。



《編集後記》 助成金セミナーに多数の皆さんが、ご参加くださいました。ありがとうございます。皆さんの活動に対する熱意を感じ、こちらでも多くの助成金情報を収集して発信したいと思います。



んだすな

「んだすな」には、人と人が願いを共感し、協力し合えたらという想いが込められています。

平成22年10月10日発行

発行：秋田県企画振興部地域活力創造課

〒010-8570 秋田市山王四丁目1-1

TEL.018-860-1245 FAX.018-860-3873

編集：北部市民活動サポートセンター

〒017-0842 秋田県大館市字馬喰町48-1

TEL.0186-49-8553 FAX.0186-49-8589

<http://www.akita-kenmin.jp/north-support-center/>

E-mail angec1@io.ocn.ne.jp

○北部市民活動サポートセンターは秋田県から委託を受けて特定非営利活動法人秋田県北NPO支援センターが運営しています。○この印刷物は1,500部作成し、印刷経費は1部当たり23.3円です。